



## 平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月6日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社  
コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 高橋 俊輔  
四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5493-5629  
平成24年4月27日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	12,358	3.6	725	△28.0	756	△25.4	392	△24.4
23年8月期第2四半期	11,925	—	1,007	—	1,014	—	519	—

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 536百万円 (△16.7%) 23年8月期第2四半期 644百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	18.43	—
23年8月期第2四半期	24.37	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	30,873	21,115	68.4
23年8月期	28,604	20,748	72.5

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 21,115百万円 23年8月期 20,748百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年8月期	—	9.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	5.5	1,400	5.8	1,450	6.1	750	8.1	35.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期2Q	22,502,936 株	23年8月期	22,502,936 株
② 期末自己株式数	24年8月期2Q	1,190,810 株	23年8月期	1,190,503 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期2Q	21,312,357 株	23年8月期2Q	21,313,144 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、(添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落込みが徐々に和らぎ、生産活動や個人消費は着実な回復基調にありましたが、欧州債務問題等を背景にした海外経済の下振れリスクやそれに伴う円高の長期化と株価の低迷により、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、不安定な景気情勢に伴う消費者の生活防衛意識は依然として根強く、また天候不順の影響により秋冬物衣料及び春物衣料販売の立ち上がりが遅れる等、引き続き厳しい商況となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは、「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を基本方針として、「真の顧客起点」と「真の小売業化」を念頭に、既存ビジネスモデルの成長と店舗運営力の強化に注力してまいりました。また、「ローコスト経営」を意識し、収益性とキャッシュ・フローを重視し、業務及び物流システムの効率化や生産拠点の積極的な見直しを図る等、「高収益ビジネスモデルへの再挑戦」を推進してまいりました。

販売面では、「クロコダイルメンズ」「クロコダイルレディス」を統括する「クロコダイル事業部門」を新設し、本年で50周年を迎える最大の基幹ブランド「クロコダイル」の組織強化により、更なる事業拡大に注力しております。また、「真の小売業化」を目指す上でコミュニケーション力向上を図るためのプレスルームを新設し、「クロコダイル」をはじめ、その他の基幹ブランド「エーグル」「スイッチモーション」を中心とする既存ビジネス及び「ベージェジェ」等の育成ブランドの更なる事業強化も図ってまいりました。

この結果、当社の自主管理型売場は前期末より純増で34店舗増加し、820店舗となりました。

一方、新規ビジネスモデルの構築として引き続き積極的にインターネット・モバイル事業を推進しております。

なお、不動産賃貸事業につきましては、引き続き東京本社ビル及び日本橋ビル等の自社物件を有効活用し、安定した収益確保を目指してまいります。

経費面では、自主管理型売場の新規出店に伴う販売費及び一般管理費は増加傾向にありますが、諸業務の効率化や生産拠点の東南アジアシフトによる生産コストの削減等を通じて、引き続き「ローコスト経営」に努めております。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度を向上させ、布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時裝有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は123億5千8百万円（前年同期比3.6%増）と増加いたしました。利益面では天候不順の影響で定価販売が減少し割引販売の増加を余儀なくされた結果、生産コストの上昇等を吸収できず、売上総利益率は48.6%と1.9ポイント低下し、営業利益は7億2千5百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は7億5千6百万円（前年同期比25.4%減）、四半期純利益は3億9千2百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業122億3千9百万円（前年同期比3.8%増）、不動産賃貸事業1億1千8百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は159億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ21億1千1百万円増加いたしました。主な要因につきましては、有価証券が9億円増加し、たな卸資産が6億1千2百万円増加したことによるものであります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は90億1百万円から13億1千3百万円増加し103億1千5百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は8千万円増加し、21億9千2百万円となりました。

#### ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は149億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億5千7百万円増加いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が6千7百万円減少し、投資有価証券が4億2千6百万円増加し、差入保証金が1億3千2百万円減少したことによるものであります。

#### ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は79億2百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億5千7百万円増加いたしました。主な要因につきましては、支払手形及び買掛金が20億2千9百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が2億1千4百万円減少したことによるものであります。

#### ④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は18億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億4千5百万円増加いたしました。主な要因につきましては、長期借入金が2億8百万円増加したことによるものであります。

## ⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は211億1千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億6千6百万円増加いたしました。主な要因につきましては、利益剰余金が2億2千2百万円増加し、その他有価証券評価差額金が8千2百万円増加し、為替換算調整勘定が3千6百万円増加したことによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.5%から4.1ポイント低下し、68.4%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期の連結業績予想につきましては、天候不順や先行き不透明な景気等、様々な不安定要素を考慮し、当社を取り巻く経営環境の厳しさは継続すると予想されることから、平成23年10月14日に公表いたしました数値を修正しております。詳細につきましては、平成24年3月23日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## &lt;追加情報&gt;

## ・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## ・法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.9%から、平成24年9月1日に開始する連結会計年度から平成26年9月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.2%に、平成27年9月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.9%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は22,556千円減少し、法人税等調整額は20,847千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,781,827	4,194,964
受取手形及び売掛金	2,111,912	2,192,551
有価証券	5,219,360	6,120,211
商品及び製品	2,280,972	2,811,824
仕掛品	62,934	74,962
原材料及び貯蔵品	30,490	100,113
繰延税金資産	192,844	162,711
その他	169,566	304,555
貸倒引当金	△218	△238
流動資産合計	13,849,691	15,961,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,748,054	2,680,971
機械装置及び運搬具（純額）	34,396	35,405
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産（純額）	12,199	10,122
建設仮勘定	2,097	149
その他（純額）	71,067	73,722
有形固定資産合計	10,799,001	10,731,555
無形固定資産	143,765	134,042
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799,030	2,225,986
差入保証金	1,465,752	1,333,576
繰延税金資産	336,354	262,539
その他	253,749	266,756
貸倒引当金	△42,537	△42,159
投資その他の資産合計	3,812,349	4,046,698
固定資産合計	14,755,115	14,912,297
資産合計	28,604,807	30,873,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,057,055	6,086,243
1年内返済予定の長期借入金	591,320	377,320
未払法人税等	402,679	325,079
賞与引当金	117,809	110,236
返品調整引当金	32,000	31,000
ポイント引当金	101,232	104,138
資産除去債務	—	7,906
その他	842,526	860,690
流動負債合計	6,144,623	7,902,615
固定負債		
長期借入金	800,030	1,008,370
退職給付引当金	517,776	511,197
資産除去債務	138,894	139,523
その他	254,501	197,154
固定負債合計	1,711,202	1,856,245
負債合計	7,855,825	9,758,861
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	10,929,012	11,151,220
自己株式	△652,510	△652,624
株主資本合計	20,839,060	21,061,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,040	23,948
繰延ヘッジ損益	△21,081	3,359
為替換算調整勘定	△9,957	26,628
その他の包括利益累計額合計	△90,079	53,936
純資産合計	20,748,981	21,115,092
負債純資産合計	28,604,807	30,873,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	11,925,826	12,358,411
売上原価	5,907,372	6,355,482
売上総利益	6,018,454	6,002,929
返品調整引当金戻入額	39,000	32,000
返品調整引当金繰入額	38,000	31,000
差引売上総利益	6,019,454	6,003,929
販売費及び一般管理費	5,012,331	5,278,332
営業利益	1,007,123	725,596
営業外収益		
受取利息	10,720	11,035
受取配当金	10,725	13,431
受取補償金	1,716	16,294
その他	11,700	11,908
営業外収益合計	34,862	52,670
営業外費用		
支払利息	13,552	12,581
賃貸借契約解約損	—	4,770
為替差損	13,853	3,343
その他	502	598
営業外費用合計	27,908	21,293
経常利益	1,014,077	756,972
特別利益		
貸倒引当金戻入額	380	—
固定資産売却益	29,751	—
特別利益合計	30,131	—
特別損失		
固定資産除却損	11,214	7,165
投資有価証券評価損	—	38
減損損失	18,392	8,114
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82,452	—
特別損失合計	112,059	15,317
税金等調整前四半期純利益	932,148	741,654
法人税、住民税及び事業税	447,784	306,274
法人税等調整額	△35,132	42,672
法人税等合計	412,651	348,946
少数株主損益調整前四半期純利益	519,497	392,707
少数株主利益	—	—
四半期純利益	519,497	392,707

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	519,497	392,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,287	82,989
繰延ヘッジ損益	18,340	24,441
為替換算調整勘定	△33,520	36,585
その他の包括利益合計	125,107	144,016
四半期包括利益	644,605	536,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644,605	536,724
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	932,148	741,654
減価償却費	165,949	171,606
減損損失	18,392	8,114
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	△1,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,403	2,905
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△470	△358
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,626	△6,578
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,027	△7,799
受取利息及び受取配当金	△21,445	△24,467
支払利息	13,552	12,581
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	38
有形固定資産売却損益 (△は益)	△29,751	—
固定資産除却損	11,214	7,165
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82,452	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,983	△78,182
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△589,719	△599,146
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,038,966	2,028,997
その他の資産の増減額 (△は増加)	△41,647	△4,519
その他の負債の増減額 (△は減少)	△128,019	5,102
その他	4,189	2,631
小計	2,339,578	2,258,745
利息及び配当金の受取額	21,485	30,233
利息の支払額	△13,712	△12,727
法人税等の支払額	△231,636	△384,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,115,715	1,891,350
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24,612	△25,605
定期預金の払戻による収入	324,612	25,605
有価証券の取得による支出	△603,634	△602,095
有価証券の売却及び償還による収入	—	800,000
有形固定資産の取得による支出	△81,168	△82,318
有形固定資産の売却による収入	34,504	—
無形固定資産の取得による支出	△14,203	△6,305
投資有価証券の取得による支出	△208,130	△403,158
差入保証金の差入による支出	△12,537	△3,726
差入保証金の回収による収入	15,195	8,117
その他	△1,411	△6,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△571,384	△295,964
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△101,660	△305,660
自己株式の取得による支出	△294	△113
配当金の支払額	△234,448	△170,499
その他	△2,344	△2,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,747	△178,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,254	6,727

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,290,329	1,423,495
現金及び現金同等物の期首残高	8,453,712	8,159,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,744,042	9,582,533

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	11,795,469	130,357	11,925,826	—	11,925,826
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,795,469	130,357	11,925,826	—	11,925,826
セグメント利益	1,283,686	50,379	1,334,065	△326,942	1,007,123

(注)1 セグメント利益の調整額△326,942千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,239,507	118,904	12,358,411	—	12,358,411
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,239,507	118,904	12,358,411	—	12,358,411
セグメント利益	1,008,770	43,968	1,052,739	△327,143	725,596

(注)1 セグメント利益の調整額△327,143千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。